



▼安全で安心なまちづくりについて活発な議論を交わした推進協議会



## 甲佐町を安全・安心に

甲佐町安全・安心まちづくり推進協議会

7月20日（水）町生涯学習センターで、平成23年度第1回甲佐町安全・安心まちづくり推進協議会が開催されました。

同協議会（竹村浩二会長）は、町が取り組む安全で安心なまちづくりをより効果的に推進するために、平成20年度に設置。町協議会議員や地域住民の代表、町内事業所、御船警察署など20人が委員を務め、町民の安全・安心に対する意識の啓発や、犯罪や事故などの防止対策に関する協議、関係機関や団体との連携などに取り組みます。昨年度は、御船署と合同での「赤パト・青パト共同パトロール」や、安津

橋健康広場「グリーンパル甲佐」でグラウンド・ゴルフを楽しむ高齢者を対象とした交通安全キャンペーンなどを実施しました。

会議では、御船署の奥山俊二生活安全係長による本町の犯罪情勢などに関する講話や、古荘重之町くらし安全推進室長による町が取り組んでいる消防・防災対策や交通安全対策、防犯対策などについての報告、委員による意見交換会が活発に行われました。

## 明るい社会を目指して

「第61回社会を明るくする運動」パレード

7月6日（水）、上益城保護司会御船分会（浦田博会長）主催で、「第61回社会を明るくする運動」啓発パレードが行われました。

同運動は、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、明るい社会を築くことを目的として、全国で展開しています。

同会では、7月が強化月間に当たることから、運動の一環として啓発パレードを毎年実施。分会管轄の益城町、御船町、嘉島町、本町を巡回してパレードを行い、運動に関する啓発活動を行いました。



▲町役場を表敬訪問し運動の趣旨を説明する参加者たち



▲赤星町教育長に贈呈された交通安全バッグ

## 全児童に交通安全バッグ

J Aかみましきが贈呈

7月6日（水）町教育長室で、「反射材付親子トートバッグ」贈呈式が行われました。

上益城農業協同組合（梅田穰組合長）が、交通事故未然防止対策事業の一環として実施。家庭や小学校での交通安全に対する意識を高めることを目的に、同組合管内の全児童を対象に「反射材付親子トートバッグ」を贈呈。また、児童たちが農業に関する理解を深めるために、同組合発行の子ども向け月刊誌も同じく贈呈しました。

式では、豊田良富代表理事常務が赤星眞照町教育長に本町児童分530個の目録を贈呈。赤星町教育長が「いただいたバッグが、子どもたちの命を守る大きな役割を果たすことを願います」とお礼を述べました。

## 園児がウナギ放流体験

緑川漁業協同組合

7月25日（月）中甲橋グリーンパークで、緑川漁業協同組合（坂本猛組合長）がウナギの稚魚放流事業を行い、竜野保育園（吉本征一郎園長）の園児15人が放流体験に参加しました。

近年、漁獲量が減少しているウナギの育成と、子どもたちが川に親しみ自然を体験するために、同組合が熊本県養鰻漁業協同組合と合同で実施。緑川流域に、合計で約600kgを放流しました。

放流体験では、園児たちはバケツに入ったウナギの稚魚をつかむなどして触れ合い、「帰ってきてね」と声を掛けながら放流しました。



▲緑川にウナギの稚魚を放流する竜野保育園の園児たち



▲九州大会に出場する梅本選手（写真前列左）

## 陸上競技で九州大会出場

梅本祥太選手（甲佐中3年・和田内区）

8月6日（土）～7日（日）宮崎県で開催される第33回九州中学校陸上競技大会に、梅本祥太選手（甲佐中3年・和田内区）が陸上競技3,000m競走得に出場します。

7月に開催された第57回全日本中学校通信陸上競技大会県大会の陸上競技3,000m競走得、粘り強く安定した走りを見せて9分5秒53の記録で2位に入賞し、出場権を獲得しました。

中学から陸上競技を始めた梅本選手は、「練習をするほどタイムが伸びるので、陸上競技は楽しいです。九州大会では、スタートとラストの走りに特に集中したいと考えています。自己ベスト（9分2秒）の更新を目指して、大会では8分台で走りたいです」と抱負を述べました。

## 全国の舞台での健闘を祈る

本町出身高校生4人の全国大会への出場が決定



▲全国大会に出場する（左上から）バスケットボール競技の井芹選手、体操競技の友友選手、自転車競技の田上選手、少林寺拳法の渡邊選手

今夏に開催される全国大会に、本町出身の高校生4選手が出場が決定しました。

7月27日（水）から秋田県を主会場に開催される平成23年度全国高等学校総合体育大会に、3選手が出場します。井芹将斗選手（下横田区・九州学院高3年）は、バスケットボール競技に出場。「3ポイントシュートが得意です。まずは全国での1勝を目指し、ベスト4が目標です」と抱負を述べました。

大友彰選手（津志田区・学園大付高2年）は、体操競技（個人戦・団体戦）で2年連続出場。「全国大会の雰囲気を感じて、悔いが残らないように自分の演技を出したい」と話しました。

田上大貴選手（下横田区・千原台高2年）は、自転車競技（4,000m速度競走）に出場。「スピードを鍛えて粘り強く走り、大会では優勝を目指します」と語りました。

また、7月29日（金）・30日（土）に香川県で開催された平成23年度全国高等学校少林寺拳法大会に、渡邊未央選手（北早川区・第一高2年）が、女子単独演武の部に出場しました。